

●実務経験のある教員等による授業科目

総合エンタテイメント科

音楽アーティストコース ヴォーカル専攻

	科目	1年	2年	3年	必修の別	授業形式	実務経験の有無の別	実務経験授業の時数
全科共通科目	SHOW!音楽エンタテイメントゼミ	54	51	51	必修	講義	○	156
	デビュー・就職実務Ⅰ	80			必修	講義		-
	デビュー・就職実務Ⅱ		53		必修	講義		-
	著作権		19		必修	講義		-
	PC実習	54			必修	講義		-
	選択授業	34	34	34	必修	講義		-
	異文化研究	15	15		必修	講義		-
	イベント制作実習A	129	118	118	必修	実習	○	365
	イベント制作実習B	311	311	311	必修	実習	○	933
専門科目	ヴォイストレーニングⅠ	34			必修	実技	○	34
	音楽理論	17			必修	講義		-
	作詞実習	17			必修	実習	○	17
	DAW実習Ⅰ	36			必修	実習		-
	コーラスワーク	36	36		必修	実技	○	72
	ヴォーカル実技Ⅰ	18			必修	実技	○	18
	ソルフェージュ	18			必修	実習	○	18
	作曲実習	36			必修	実習	○	36
	ライブパフォーマンス実習	34			必修	実習	○	34
	ヴォーカルレコーディング		34		必修	実習	○	34
	ヴォイストレーニングⅡ		34		必修	実技	○	34
	ヴォーカル実技Ⅱ		36		必修	実技	○	36
	ヴォーカルパフォーマンス実習		36		必修	実習	○	36
	DAW実習Ⅱ		36		必修	実習		-
	コード楽器実技		34		必修	実技	○	34
	選択必修※「選択必修科目一覧表」参照			301	選択必修	科目による	科目による	-
								-
								-
合計	総授業時間数	923						
合計	総授業時間数		847					
合計	総授業時間数			815				
合計	総授業時間数							合計
	卒業時最少時間		2585					1857

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	SHOW!音楽エンタテインメントゼミ		実務授業の有無	○
担当講師	永島麻耶(コーディネーター)		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1・2	年	総授業時間	54 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	<p>日々変化していく音楽・エンタテインメント分野に対し、実際に音楽・エンタテインメント業界企業で仕事をされている方々を毎回特別講師としてお呼びし、オムニバス形式で講義を行う。講義後は各専攻の学科に対してワークショップなどを行う。</p> <p>到達目標は、音楽・エンタテインメントに対して、学生が現在の個人的な趣味嗜好を超えた興味関心を持ち、多角的に音楽・エンタテインメントを理解することが出来るようになることである。</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション／特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
2	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
3	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
4	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
5	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
6	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
7	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
8	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
9	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
10	後期開始前イントロダクション／特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
11	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
12	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
13	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
14	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
15	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
16	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
17	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
18	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
19	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出

教科書等	なし 授業形態／遠隔授業のみ実施
成績評価	課題レポート提出80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	各回によって経歴が異なるが、各回ごとに音楽・エンタテインメント企業の講師である。 (2022年度例) エイベックス・マネジメント株式会社、コンサートプロモーターズ協会、株式会社コレオグラフィ、合同会社UNITY 等

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	SHOW!音楽エンタテインメントゼミ		実務授業の有無	○
担当講師	永島麻耶(コーディネーター)		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1・2	年	総授業時間	51 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	<p>日々変化していく音楽・エンタテインメント分野に対し、実際に音楽・エンタテインメント業界企業で仕事をされている方々を毎回特別講師としてお呼びし、オムニバス形式で講義を行う。講義後は各専攻の学科に対してワークショップなどを行う。</p> <p>到達目標は、音楽・エンタテインメントに対して、学生が現在の個人的な趣味嗜好を超えた興味関心を持ち、多角的に音楽・エンタテインメントを理解することが出来るようになることである。</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション／特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
2	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
3	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
4	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
5	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
6	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
7	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
8	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
9	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
10	後期開始前イントロダクション／特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
11	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
12	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
13	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
14	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
15	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
16	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
17	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
18	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
19	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出

教科書等	なし 授業形態／遠隔授業のみ実施
成績評価	課題レポート提出80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	各回によって経歴が異なるが、各回ごとに音楽・エンタテインメント企業の講師である。 (2022年度例) エイベックス・マネジメント株式会社、コンサートプロモーターズ協会、株式会社コレオグラフィ、合同会社UNITY 等

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	デビュー・就職実務 I		実務授業の有無	×
担当講師	早福 俊明		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	80 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	<p>通年授業展開、且つ社会人常識マナー検定対策、就職対策も含む 基本PPPを使用したの授業展開、漢字の読み・カタカナ用語・都道府県等については宿題を課し、メール作成や社外文書の書き方、郵便の出し方などは実際に早福に送らせ、添削指導を行う。 また、検定には出ないが消費税の計算や円高円安における海外旅行の影響(ここは後期)についても時間を割いて実施し、社会人常識を身に付ける。 検定は9月に実施し、合格率90.0%を目指す。後期対策授業は25コマを予定</p>
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	動機付け、社会人としてのルールの基本指導①、新潟県について
2	社会人としてのルールの基本指導② 卒後やアルバイトで役に立つ労働法クイズ
3	第1編1章 メールについて①
4	第1編2章 メール発信のフィードバック、送付状の書き方①
5	第1編3章① 送付状の書き方フィードバック 就職につながるフジロック等アルバイト説明
6	第1編3章② 履歴書の書き方指導、前期期末試験(課題提出)について説明
7	第2編1章 コミュニケーション、敬語
8	第2編2章 コミュニケーション、敬語
9	第2編3章 ビジネス文書(社内・社外)、グラフ
10	第3編1章① 特別講師による講義・レポート提出
11	第3編1章② 特別講師による講義・レポート提出
12	第3編2～5章 社会人常識マナー検定対策、模擬試験・指導
13	ジョブカードを使用した進路先確認① 特別講師による講義・レポート提出
14	ジョブカードを使用した進路先確認② 特別講師による講義・レポート提出
15	履歴書の書き方復習、送付状作成について復習 特別講師による講義・レポート提出
16	履歴書の書き方復習、送付状作成について復習 特別講師による講義・レポート提出
17	第3編2級課題慶事のマナーなど① 特別講師による講義・レポート提出
18	後期期末試験(課題提出)について説明、進級時特待の案内 特別講師による講義・レポート提出
19	就活セミナー、生活設計、模擬面接・指導
20	就活セミナー、生活設計、模擬面接・指導

教科書等	<p>社会人常識マナー検定テキスト2・3級 自作プリント 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施</p>
成績評価	<p>課題レポート提出30%、各期末課題(試験)提出25%、検定結果25%、出席率10%、授業態度10% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p>
実務経験教員の経歴	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	デビュー・就職実務Ⅱ		実務授業の有無	x
担当講師	永島 麻耶 (コーディネーター)		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	53 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	<p>就職又はデビューに向けた実務授業。 目標を設定させ、履歴書の書き方、プロフィールの書き方、ビジネスマナー、リスクマネジメント、企業コンプライアンスなどについて学習する。デビュー・就職の実現に向け随時個別ヒアリングとフォローを実施。 また、学生主体の自主イベントの企画制作も行いプロ活動につなげて行く。</p>
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	<p>アーティスト志望：【目標設定と計画、自覚】2年次初動での目標設定の改め、見直し～計画。「目標設定シート」の作成。春休み中の活動報告提出。</p> <p>就職志望：I【目標設定と計画、自覚】2年次初動での目標設定の改め、見直し～計画。「目標設定シート」の作成。春休み中の活動報告提出。</p>
2	<p>アーティスト志望：「目標設定シート」フィードバック。企業研究。目標について個別ヒアリング面談</p> <p>就職志望：「目標設定シート」フィードバック。企業研究。目標について個別ヒアリング面談</p>
3	<p>アーティスト志望：現状プロフィールシートの更新。確認と再作成</p> <p>就職志望：履歴書作成(基本的な作成/志望動機/自己PRなど)</p>
4	<p>アーティスト志望：プロフィールシートの提出</p> <p>就職志望：履歴書作成(基本的な作成/志望動機/自己PRなど)と提出</p>
5	<p>アーティスト志望：プロフィールシートの添削フィードバック</p> <p>就職志望：履歴書・必要書類の添削フィードバック</p>
6	<p>アーティスト志望：①【活動報告書】の作成と提出</p> <p>就職志望：①【活動報告書】の作成と提出</p>
7	<p>アーティスト志望：①【活動報告書】を踏まえ個別ヒアリング面談</p> <p>就職志望：①【活動報告書】を踏まえ個別ヒアリング面談</p>
8	<p>アーティスト志望：オーディション対策(自己PRの練習)</p> <p>就職志望：面接対策(自己PR、志望動機の練習)</p>
9	<p>アーティスト志望：個別面談・フィードバック</p> <p>就職志望：個別面談・フィードバック</p>
10	<p>アーティスト志望：【目標設定の見直し】目標設定の振り返り～再設定など</p> <p>就職志望：【目標設定の見直し】目標設定の振り返り～再設定など</p>
11	「コミュニケーション検定」補講・検定
12	<p>アーティスト志望：②【活動報告書】の作成と提出</p> <p>就職志望：②【活動報告書】の作成と提出</p>
13	<p>アーティスト志望：②【活動報告書】を踏まえ個別ヒアリング面談</p> <p>就職志望：②【活動報告書】を踏まえ個別ヒアリング面談</p>
14	<p>アーティスト志望：現状プロフィールシートの更新。確認と再作成</p> <p>就職志望：②面接対策(自己PR、志望動機の練習)</p>
15	<p>アーティスト志望：プロフィールシートの提出</p> <p>就職志望：未内定者個別面談・フィードバック/ビジネスマナー(内定者)</p>
16	<p>アーティスト志望：③【活動報告書】の作成と提出</p> <p>就職志望：③【活動報告書】の作成と提出</p>
17	<p>アーティスト志望：③【活動報告書】を踏まえ個別ヒアリング面談</p> <p>就職志望：③【活動報告書】を踏まえ個別ヒアリング面談</p>
18	<p>アーティスト志望：プロフィールシートの提出</p> <p>就職志望：未内定者個別面談・フィードバック/ビジネスマナー(内定者)</p>

教科書等	なし 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	テスト成果70%、取り組み姿勢30%
実務経験教員の経歴	なし

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	著作権		実務授業の有無	×
担当講師	梅川 洸平		講義実施時期	前期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	19 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	音楽・エンタテインメント業界で活躍するための著作権の知識の吸収と、著作権検定BASICの合格を目指す。 自作PPとテキストを使用することで理解度アップを目指す。且つ模擬問題の解説でより深く知識の吸収を目指す。最終時間は業界から特別講師招いて、身近な生活と著作権の権利の関係を知ってもらう。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	動機付け、DVD視聴&解説
2	X章・I章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上
3	II章・III章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上
4	IV章・V章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上
5	VI章・VII章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上
6	VIII章・IX章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上
7	模擬問題①②の実施及び解説
8	模擬問題③④の実施及び解説
9	模擬問題⑤の実施及び解説、特別講師による講義・レポート提出

教科書等	テキスト及びDVD(著作権情報センター借用) 授業形態/対面授業のみ実施
成績評価	模擬問題35%、検定結果35%、出席率20%、授業態度10% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	PC実習		実務授業の有無	×
担当講師	早福 俊明		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	54 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	社会で使用且つ必要されているWord、Excelソフトを使いこなせる能力をテキストや問題集をこなすことで慣れさせ、技術を身に付ける。その確認としてそれぞれ検定の3級合格を目指す。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	Word対策動機付け テキストを使用して重点項目を実施
2	テキストを使用して重点項目を実施 練習問題①②
3	模擬試験①～③
4	模擬試験④～⑥
5	模擬試験⑦、サンプル問題
6	Excel対策動機付け テキストを使用して重点項目を実施
7	テキストを使用して重点項目を実施 練習問題①②
8	模擬試験①～③
9	模擬試験④～⑥
10	模擬試験⑦、サンプル問題

教科書等	テキスト・問題集 (Word・Excel共に) 自作のプリント 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	検定結果70%、授業態度10%、出席率20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	選択授業		実務授業の有無	×
担当講師	永島麻耶(コーディネーター)		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1・2	年	総授業時間	34 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	<p>本校では自身の専攻学科以外の科目を学べるよう「選択授業」を設定している。科目数は毎年約30科目ほどである。各学科の専攻の授業を中心に授業展開がなされ、学生が他専攻の授業を学ぶことによって、幅広い知識・技術を身につけ、自身の将来に生かしていくことを目的とする。</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	前期イントロダクション 各授業開始※各科目によって異なる
2	各科目による
3	各科目による
4	各科目による
5	各科目による
6	各科目による
7	各科目による
8	各科目による
9	前期評価 各科目による
10	後期イントロダクション 各授業開始※各科目によって異なる
11	各科目による
12	各科目による
13	各科目による
14	各科目による
15	各科目による
16	各科目による
17	後期評価 各科目による

教科書等	※各科目による 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	※各科目によって異なる 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	異文化研究		実務授業の有無	×
担当講師	早福 俊明		講義実施時期	後期
			必修・選択	必修
対象学年	1・2	年	総授業時間	15 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	音楽やエンタメを仕事にしていくにあたり、広い視野を持つことが非常に重要である。海外の異文化研究を行い、海外の文化等を学ぶことで、自身の視野を広げ、プロデビュー・プロ活動・専門職就職に活かしていく。またパワーポイントでプレゼンを行うことで発表力・企画力を身に付ける。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション チーム分け 研究国決定
2	研究① PP作成
3	研究② PP作成
4	研究③ PP作成
5	各チーム研究成果発表・自己評価・他己評価

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	成果発表内容60%、取り組み姿勢20%、出席率20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	イベント制作実習A		実務授業の有無	○
担当講師	永島麻耶(コーディネーター)		講義実施時期	前期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	129 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	<p>前期に学んだ集大成として、野外フェスを企画・制作・運営する。 アーティスト系学科は演者として、スタッフ系学科を演者を支えるスタッフとしてそれぞれの学科の専攻ごとに制作を行う。</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション 各専攻ステージ制作
2	各専攻ステージ制作
3	各専攻ステージ制作
4	各専攻ステージ制作
5	各専攻ステージ制作
6	各専攻ステージ制作
7	各専攻ステージ制作
8	各専攻ステージ制作
9	各専攻ステージ制作
10	各専攻ステージ制作
11	各専攻ステージ制作
12	各専攻ステージ制作(会場仕込み・サウンドチェック・場当たり 等)
13	本番日①(リハーサル・ゲネプロ・本番)
14	本番日②(リハーサル・ゲネプロ・本番)
15	フィードバック・反省会
16	
17	

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	作品成果60%、制作への貢献度20%、取り組み姿勢20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	各企業・団体と連携した運営体制となっている。 音響・照明系企業「サウンドエイト」「新潟照明技研」 映像系企業「MAD PRODUCTION」 ダンス系団体「合同会社UNITY」等

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	イベント制作実習B		実務授業の有無	○
担当講師	永島麻耶(コーディネーター)		講義実施時期	後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	311 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	後期に学んだ集大成として、ホールコンサートを企画・制作・運営する。 アーティスト系学科は演者として、スタッフ系学科を演者を支えるスタッフとしてそれぞれの学科の専攻ごとに制作を行う。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション 各専攻ステージ制作
2	各専攻ステージ制作
3	各専攻ステージ制作
4	各専攻ステージ制作
5	各専攻ステージ制作
6	各専攻ステージ制作
7	各専攻ステージ制作
8	各専攻ステージ制作
9	各専攻ステージ制作
10	各専攻ステージ制作
11	各専攻ステージ制作
12	各専攻ステージ制作
13	各専攻ステージ制作
14	各専攻ステージ制作(仮会場リハーサル①)
15	各専攻ステージ制作
16	各専攻ステージ制作
17	各専攻ステージ制作
18	各専攻ステージ制作
19	各専攻ステージ制作
20	各専攻ステージ制作(仮会場リハーサル②)
21	各専攻ステージ制作
22	各専攻ステージ制作
23	各専攻ステージ制作
24	各専攻ステージ制作
25	各専攻ステージ制作
26	各専攻ステージ制作
27	各専攻ステージ制作
28	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル①)
29	各専攻ステージ制作
30	各専攻ステージ制作
31	各専攻ステージ制作
32	各専攻ステージ制作
33	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル②)
34	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル③)
35	各専攻ステージ制作
36	各専攻ステージ制作
37	各専攻ステージ制作
38	各専攻ステージ制作
39	各専攻ステージ制作(会場仕込み・サウンドチェック・場当たり 等)
40	各専攻ステージ制作(リハーサル・ゲネプロ)
41	各専攻ステージ制作(本番)
42	フィードバック・反省会

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	作品成果60%、制作への貢献度20%、取り組み姿勢20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	各企業・団体と連携した運営体制となっている。 音響・照明系企業「サウンドエイト」「新潟照明技研」 映像系企業「MAD PRODUCTION」 ダンス系団体「合同会社UNITY」等

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	イベント制作実習A		実務授業の有無	○
担当講師	永島麻耶(コーディネーター)		講義実施時期	前期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	118 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	<p>前期に学んだ集大成として、野外フェスを企画・制作・運営する。 アーティスト系学科は演者として、スタッフ系学科を演者を支えるスタッフとしてそれぞれの学科の専攻ごとに制作を行う。</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション 各専攻ステージ制作
2	各専攻ステージ制作
3	各専攻ステージ制作
4	各専攻ステージ制作
5	各専攻ステージ制作
6	各専攻ステージ制作
7	各専攻ステージ制作
8	各専攻ステージ制作
9	各専攻ステージ制作
10	各専攻ステージ制作
11	各専攻ステージ制作
12	各専攻ステージ制作(会場仕込み・サウンドチェック・場当たり 等)
13	本番日①(リハーサル・ゲネプロ・本番)
14	本番日②(リハーサル・ゲネプロ・本番)
15	フィードバック・反省会
16	
17	

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	<p>作品成果60%、制作への貢献度20%、取り組み姿勢20%</p> <p>成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p>
実務経験教員の経歴	<p>各企業・団体と連携した運営体制となっている。 音響・照明系企業「サウンドエイト」「新潟照明技研」 映像系企業「MAD PRODUCTION」 ダンス系団体「合同会社UNITY」等</p>

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	イベント制作実習B		実務授業の有無	○
担当講師	永島麻耶(コーディネーター)		講義実施時期	後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	311 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	後期に学んだ集大成として、ホールコンサートを企画・制作・運営する。 アーティスト系学科は演者として、スタッフ系学科を演者を支えるスタッフとしてそれぞれの学科の専攻ごとに制作を行う。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション 各専攻ステージ制作
2	各専攻ステージ制作
3	各専攻ステージ制作
4	各専攻ステージ制作
5	各専攻ステージ制作
6	各専攻ステージ制作
7	各専攻ステージ制作
8	各専攻ステージ制作
9	各専攻ステージ制作
10	各専攻ステージ制作
11	各専攻ステージ制作
12	各専攻ステージ制作
13	各専攻ステージ制作
14	各専攻ステージ制作(仮会場リハーサル①)
15	各専攻ステージ制作
16	各専攻ステージ制作
17	各専攻ステージ制作
18	各専攻ステージ制作
19	各専攻ステージ制作
20	各専攻ステージ制作(仮会場リハーサル②)
21	各専攻ステージ制作
22	各専攻ステージ制作
23	各専攻ステージ制作
24	各専攻ステージ制作
25	各専攻ステージ制作
26	各専攻ステージ制作
27	各専攻ステージ制作
28	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル①)
29	各専攻ステージ制作
30	各専攻ステージ制作
31	各専攻ステージ制作
32	各専攻ステージ制作
33	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル②)
34	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル③)
35	各専攻ステージ制作
36	各専攻ステージ制作
37	各専攻ステージ制作
38	各専攻ステージ制作
39	各専攻ステージ制作(会場仕込み・サウンドチェック・場当たり 等)
40	各専攻ステージ制作(リハーサル・ゲネプロ)
41	各専攻ステージ制作(本番)
42	フィードバック・反省会

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	作品成果60%、制作への貢献度20%、取り組み姿勢20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	各企業・団体と連携した運営体制となっている。 音響・照明系企業「サウンドエイト」「新潟照明技研」 映像系企業「MAD PRODUCTION」 ダンス系団体「合同会社UNITY」等

SHOW! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ヴォイストレーニング		実務授業の有無	○
担当講師	延沢汐美		講義実施時期	前期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	16 時間
対象学科	ヴォーカル科		対象コース	ヴォーカル科全コース

授業概要	発声や歌唱に関する知識の構築と、基礎としての土台作りを通して、声に対する興味と関心を深くする。 ストレッチや筋力トレーニングを通じた体作り、発声練習を通じた呼吸機能・発声機能・ヴォーカルテクニック向上、発声の仕組みや呼吸に関する知識向上など、ヴォーカリストとしての知識力・基礎力の構築。 また、声の種類やそれぞれの課題に合わせた課題曲の歌唱を通して、自分自身の声と向き合う。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	○出席(自己紹介させる→名前・高校名・好きなアーティストやジャンル・目標・授業で身に付けたいこと) ○講師紹介(名前・高校名・お仕事についてなど) ○授業への心構え(挨拶に重要性・授業の進め方・授業への姿勢) ○ヴォイストレーニングの必要性 ----- -----
2	○出席(自分で名前を言わせる・一言トーク)→MCトレーニング ○ストレッチ ○筋力トレーニング(足上げ腹筋・背筋・体幹トレーニング2種・肩周り・首周り・表情筋) ○プレトレーニング ○リップロール ----- -----
3	○出席(自分で名前を言わせる・一言トーク)→MCトレーニング ○ストレッチ ○筋力トレーニング(足上げ腹筋・背筋・体幹トレーニング2種・肩周り・首周り・表情筋) ○プレトレーニング 復習 ○リップロール ----- -----
4	○出席(自分で名前を言わせる・一言トーク)→MCトレーニング ○ストレッチ ○筋力トレーニング(足上げ腹筋・背筋・体幹トレーニング2種・肩周り・首周り・表情筋) ○共鳴腔 ハミングロングトーン ○共鳴腔 ハミング音階発声 ○共鳴から発声へ ハミングロングトーン ----- -----
5	○出席(自分で名前を言わせる・一言トーク)→MCトレーニング ○ストレッチ ○筋力トレーニング(足上げ腹筋・背筋・体幹トレーニング2種・肩周り・首周り・表情筋) ○共鳴腔 ハミング音階発声 ○共鳴から発声へ ハミングロングトーン ○ロングトーン ○音階 「ま」 ----- -----
6	○出席(自分で名前を言わせる・一言トーク)→MCトレーニング ○ストレッチ ○筋力トレーニング(足上げ腹筋・背筋・体幹トレーニング2種・肩周り・首周り・表情筋) ○共鳴腔 ハミング音階発声 ○ロングトーン ○音階 「ま」 ○5度音程 ----- -----
7	○出席(自分で名前を言わせる・一言トーク)→MCトレーニング ○ストレッチ ○筋力トレーニング(足上げ腹筋・背筋・体幹トレーニング2種・肩周り・首周り・表情筋) ○共鳴腔 ハミング音階発声 ○ロングトーン ○音階 ○スタッカート ----- -----
8	○出席(自分で名前を言わせる・一言トーク)→MCトレーニング ○ストレッチ ○筋力トレーニング(足上げ腹筋・背筋・体幹トレーニング2種・肩周り・首周り・表情筋) ○共鳴腔 ハミング音階発声 ○ロングトーン ○音階 ○スタッカート ----- -----

教科書等	・講師制作テキスト ・課題曲の楽譜・音源・歌詞カード
成績評価	課題の成果40%、授業態度および学習意欲50%、テスト10% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	ヴォーカルインストラクター・イベントシンガー・チャペルシンガーとして10年音楽業界に従事

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ヴォイストレーニング		実務授業の有無	○
担当講師	延沢汐美		講義実施時期	前期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	18 時間
対象学科	ヴォーカル科		対象コース	ヴォーカル科全コース

授業概要	ストレッチや筋力トレーニングを通じた体作り、発声練習を通じた呼吸機能・発声機能・ヴォーカルテクニック向上、発声の仕組みや呼吸に関する知識向上など、ヴォーカリストとしての知識力・基礎力の構築。 前期に行ったことがどれくらいに身に付いているか、また、個人的に練習をしているかを見極め、それぞれに必要なトレーニングアドバイス、個性の構築を行う。 課題曲を「覚える→歌う」のスピード感を上げることでの耳のトレーニング			
------	--	--	--	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	○授業への心構え(挨拶に重要性・授業の進め方・授業への姿勢) ○ストレッチ ○筋力トレーニング(腹筋・背筋) ○体幹トレーニング ○プレストレーニング ○リップロール
2	○授業への心構え(挨拶に重要性・授業の進め方・授業への姿勢) ○ストレッチ ○筋力トレーニング(腹筋・背筋) ○リップロール ○発声練習(ハミング・ロングトーン・音階・5度音程・ファルセット・スタッ
3	○授業への心構え(挨拶に重要性・授業の進め方・授業への姿勢) ○ストレッチ ○筋力トレーニング(腹筋・背筋) ○リップロール ○発声練習(ハミング・ロングトーン・音階・5度音程・ファルセット・スタッ
4	○授業への心構え(挨拶に重要性・授業の進め方・授業への姿勢) ○ストレッチ ○筋力トレーニング(腹筋・背筋) ○リップロール
5	○授業への心構え(挨拶に重要性・授業の進め方・授業への姿勢) ○ストレッチ ○筋力トレーニング(腹筋・背筋) ○リップロール ○発声練習(ハミング・ロングトーン・音階・5度音程・ファルセット・スタッ
6	○ストレッチ ○発声練習(ハミング・ロングトーン) ○後期評価曲発表 選曲理由、課題点など交えて一人ずつに
7	○後期評価曲 1コーラスのみチェック
8	○後期評価曲 フルコーラスチェック
9	○後期評価曲 テスト

教科書等	・講師制作テキスト ・課題曲の楽譜・音源・歌詞カード
成績評価	課題の成果40%、授業態度および学習意欲50%、テスト10% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	ヴォーカルインストラクター・イベントシンガー・チャペルシンガーとして10年音楽業界に従事

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	音楽理論		実務授業の有無	×
担当講師	佐藤 和音		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	17
対象学科	音楽アーティスト科		対象コース	全コース

授業概要	音楽理論の基礎からコード理論・コードスケールの基本と相互関係を総合的に学びます。到達目標は、読譜、記譜ができるようになり、音楽理論を活用した作曲やアレンジができるようになる事。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション・音楽理論とは何か。
2	メジャースケールの理解。
3	音符・休符・リズムの理解(基本編)。
4	音符・休符・リズムの理解(リズムトレーニング編)。
5	音符・休符・リズムの理解(符点音符・リズムトレーニング編)。
6	音程(インターバル)の理解(完全音程・長音程・短音程編)。
7	音程(インターバル)の理解(増音程・減音程編)。
8	前期末テスト。
9	前期末テスト解説。
10	和音の理解(三和音編)
11	和音の理解(四和音編)
12	和音の理解(テンションコード編)
13	和音確認テスト・答え合わせ・解説
14	メジャーダイアトニックコードの理解(基本編)
15	メジャーダイアトニックコードの理解(コード進行編)
16	メジャーダイアトニックコードの理解(コード進行編)
17	メジャーダイアトニックコードの理解(コードスケール編)
18	後期末テスト
19	後期末テスト解説

教科書等	なし 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	テスト成果70%、取り組み姿勢30% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	作詞実習		実務授業の有無	○
担当講師	富田 一輝		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	17
対象学科	音楽アーティスト科		対象コース	時間

授業概要	<p>作詞に関し、DAWソフトを使用しつつ基礎的な技法を学ぶ。 ①既存曲から希望楽曲の選定②作詞③ブラッシュアップ④仮歌の録音 上記を基本的な流れとし、最終的にはタイアップ等を想定した作詞にも挑戦することで、作詞の技術だけでなく、エンタテインメントに関し多角的な視点を持てるようになることを目標とする。</p>
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	前期イントロダクション(動機付け等)
2	CMソングについて 短い時間で印象に残すための技法について解説。
3	CMソングについて 課題曲を実際に制作しつつ、DAWの操作方法を解説。
4	個人課題① 作詞を行う課題曲を2曲選定。
5	個人課題① テーマを決定次第制作開始。
6	個人課題① 制作物のブラッシュアップ。
7	個人課題② 2曲目の制作開始。
8	個人課題② 制作物のブラッシュアップ。
9	期末考査(制作物の発表)
10	前期イントロダクション(動機付け等)
11	CMソングについて 短い時間で印象に残すための技法について解説。
12	CMソングについて 課題曲を実際に制作しつつ、DAWの操作方法を解説。
13	個人課題① 作詞を行う課題曲を2曲選定。
14	個人課題① テーマを決定次第制作開始。
15	個人課題① 制作物のブラッシュアップ。
16	個人課題② 2曲目の制作開始。
17	個人課題② 制作物のブラッシュアップ。
18	個人課題② 制作物のブラッシュアップ。
19	期末考査(制作物の発表)

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	課題レポート提出80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	音楽制作会社SUPA LOVE所属 アニメ「理系が恋をしたので証明してみた」OP主題歌 作編曲 アニメ「キラッとプリちゃん」EDテーマ 作編曲、アニメ「SHOW BY ROCK!!ましゅまいれっしゅ!!」挿入歌 作詞、作編曲 他、メジャーアーティストやアニメソングを中心に多数楽曲提供を行う。

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	音源編集・宅録実習		実務授業の有無	×
担当講師	小川 拓		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	34 時間
対象学科	ヴォーカル科		対象コース	

授業概要	<p>楽曲制作に必要なレコーディングの技術と知識を習得するための講義・実習を行う。 主にデモ音源制作を目的とした自宅等でのレコーディングスタジオを使用しないレコーディングを学ぶ。 学生が楽曲制作時に必要な音を自身で収録・編集し、楽曲のクオリティを向上させることを目標とする。</p>
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	授業の概要説明 動機づけ レコーディングの基礎知識
2	DAWでのレコーディングの手順と必要機材について
3	マイクの種類と特性 マイキングとマルチトラックレコーディングについて
4	ヴォーカルレコーディングの手順と実践
5	ヴォーカルレコーディングの手順と実践
6	ヴォーカルデータの編集 コンピングの手順と実践
7	MIDI入力によるレコーディングについて キーボードを使ったMIDIレコーディングの手順と実践
8	キーボードを使ったMIDIレコーディングの手順と実践 MIDIデータの編集について
9	MIDIデータの編集 前期のまとめ
10	ライン入力によるレコーディングについて ギター・ベースのレコーディング
11	ギター・ベースのレコーディング
12	ギター・ベースの編集
13	マイク入力による楽器のレコーディングについて アコースティックギターのレコーディング
14	アコースティックギターのレコーディングと編集
15	打楽器のレコーディング ドラムのマルチトラックレコーディングについて
16	ドラムのマルチトラックレコーディング
17	マルチトラックの編集 サンプリングについて
18	パーカッション等のサンプリング サンプリングデータの編集 後期まとめ

教科書等	なし 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	出席率20%、課題提出50%、授業態度30%にて評価する。 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	

SHOW! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	コーラスワーク		実務授業の有無	○
担当講師	佐藤 和音/大野 知世		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1・2	年	総授業時間	36
対象学科	ヴォーカル科		対象コース	ヴォーカルコース

授業概要	<p>ヴォーカリストとして大切な「相対音感」を身につけるためのトレーニングを行う。 全員での合唱・アカペラ曲の歌唱、少人数でグループにわかれてのコーラスのある曲の歌唱を通し、相手の音を聞く、相手の音に合わせることを通し、1つの音楽を大人数で作り上げることや、人の音に合わせて自分の声を出す意識を高める。</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション、授業の趣旨・意義・今後のスケジュール等の説明。 発声練習
2	発声練習 合唱曲① パート別音取り・パート練習
3	発声練習 合唱曲① パート練習・合唱
4	発声練習 合唱曲① パート練習・合唱
5	発声練習 合唱曲② パート別音取り・パート練習
6	発声練習 合唱曲② パート練習・合唱
7	発声練習 合唱曲② パート練習・合唱
8	発声練習 合唱曲③ パート別音取り・パート練習
9	発声練習 合唱曲③ パート練習・合唱
10	発声練習 合唱曲③ 発表
11	後期イントロダクション、授業の趣旨・意義・今後のスケジュール等の説明。 発声練習
12	グループコーラス曲① グループ別練習
13	グループコーラス曲① グループ別練習
14	グループコーラス曲① 発表
15	グループコーラス曲② グループ別練習
16	グループコーラス曲② グループ別練習
17	グループコーラス曲② グループ別練習
18	グループコーラス曲② 発表

教科書等	各課題曲楽譜・音源を配布 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	授業態度および学習意欲50%、音程の正確さなど技術全般50% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	【大野】小学5年(2002年)から、リ्यूとびあ演劇スタジオキッズ・コース「APRICOT」に所属。 その後、高校1年(2008年)からは、リ्यूとびあ能楽堂シリーズに出演。 18歳(2011年)にはNew YorkのBroadway Dance Centerに1年間留学をする。 その後、「Harvest」という劇団を立ち上げ2作品上演。

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ヴォーカル口実技 I		実務授業の有無	○
担当講師	ナタリー石田		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	18 時間
対象学科	音楽アーティスト科		対象コース	全コース

授業概要	ヴォーカリスト入門として、初めて歌に向き合う上での必要なスキルや技術的な部分はもちろん、そのうえで人前で歌う「心構え」や独りよがりではなく聴く人の気持ちを優先した選曲やパフォーマンス。さらに自分では「気づけない」自分の持つ声の魅力および欠点を講師の立場からアドバイスできたら、と思います。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	【ソルフェージュと合同授業】簡単な自己紹介。先生からの質問に答えてもらう。まずは緊張を解し、歌手への第一歩としての学生生活の過ごし方などの他、今後の方向性や目指すべきものを導き出す。
2	【ソルフェージュと合同授業】自由曲をワンコーラスと、ピアノに合わせて譜面を見つつ実際に声を出して歌ってもらい、組割りを決める。
3	【自己分析】詳しく自己紹介。影響を受けた歌手、自分の声質や声量、キャラクターなどを分析する。自分が影響を受けたヴォーカリストのどこに影響を受けたのか、また、自分がどのようなヴォーカリストを目指すべきなのかを導き出していく。その後、ヴォーカリストとしての基本的な心構えなどを論じていきます。
4	【歌の披露】現時点で自分が一番自信のある楽曲を披露してもらう。そのうえで、なぜその曲なのか、なぜその曲に魅力を感じるのか？その曲が伝えたいことは？など、「ただ好きで歌っていた」だけではなく、歌の意味、そして「歌う意味」を考える。
5	【テーマ：世界の様々な音楽を知る】若い学生が聴いたことのない様々なジャンルの音楽を聞いてもらう。それを聴いてどう感じたかを全員でクロストークし、【歌の世界】をより深く感じてもらう。
6	【テーマ：アップテンポの曲】それぞれの長所・短所を自分で見極める為の、まずは「アップテンポの曲」を歌唱してもらう。楽曲のセレクトはそれぞれで選曲。
7	【テーマ：バラード曲】それぞれの長所・短所を自分で見極める為の、次は「バラード曲」を歌唱してもらう。楽曲のセレクトはそれぞれで選曲。
8	【テーマ：幅広い年代層に向けて】不特定多数のお客さんが集まる街なかのフリーライブ出演と仮定して選曲して下さい。独りよがりの選曲でなく、幅広い年代層の人が笑顔になっさり涙するような選曲を。
9	【テーマ：自分に本当に合う楽曲1】ここまでやってきて、好き嫌いを別にしてそれぞれに自分の声質、特徴などを考え、自分に合う曲を一曲披露してもらう。それを前期の最終課題曲とするので、今回歌唱後に講師よりアドバイスを出し、次回弱点を直した上でもう一度披露してもらう。
10	【前期最終課題】前回披露して、修正を加えた「自分に合う曲」を完全な形で一曲披露してもらう。歌詞は見えない・ステージングも意識して、あくまでお客様の目の前で歌ってる事を考え、プロへの第一歩としての歌を全力で。
11	【休み中のエピソード～歌唱】この休暇中に音楽に対する想いの変化や、スキルアップのためになにかやってきたか、などを確認する。その後歌の披露で【どう進化したか、或いは退化したか】を評価する。
12	【ステージング】自分のコンサートを企画、ディレクションします。30分のステージと仮定し、オープニングの曲、もしくはエンディングの曲を披露。なぜその曲なのかも解説してもらいます。
13	【テーマ：真逆の曲】自分のキャラや正確、声質などをそろそろ理解しているこの時期に、敢えて全く真逆の曲を披露して下さい。新しい発見や、レパートリーが増える可能性があります。この日に次回の洋楽曲を聴かせます。
14	【テーマ：洋楽】現代の若い子は洋楽曲に触れる機会が少ないと思われます。そこで洋楽のデュエット曲に挑戦。ハーモニーの大切さ、他の音を聴く重要性。そして、英語曲ならではの発声や発音などにも言及します。
15	【テーマ：洋楽2】前回初めて聴いたであろう洋楽曲の成果を披露。フェイクやシャウトの付け方などもレクチャーしつつ、より本物に近いカタチで歌えるコツを伝授。
16	【ステージング】自分のコンサートを企画、ディレクションします。30分のステージと仮定し、オープニングの曲、もしくはエンディングの曲を披露。なぜその曲なのかも解説してもらいます。この日に最終課題曲を渡します。
17	【テーマ：課題曲の進展状況を確認】最終課題曲を現時点でどこまで歌えるか練習として披露。歌いこなせていない部分などを細かくチェックします。
18	【評価課題曲】二週前に渡しておいた課題曲を披露してもらいます。歌い込み、完成度を評価します。

教科書等	特になし。 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	授業での歌唱評価、及び上達度80%、授業態度および学習意欲20%
実務経験教員の経歴	マンダムのボーカリストとして20年、また、ジャズ、ポップスシンガーとして活動。チャペルソリストとして19年、他、数々のステージで活動中。県内のCMソング歌唱やテレビ・ラジオなどでナレーターとしても活躍。

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス					
科目名	ソルフェージュ			実務授業の有無	○
担当講師	野瀬珠美		講義実施時期	前期・後期	
対象学年	1	年	必修・選択	必修	
対象学科	音楽アーティスト科		総授業時間	18	時間
			対象コース	全コース	
授業概要	楽譜に記してある様々な要素(旋律、リズム、ハーモニー等)を正確に読み取り、正確に表現する。				
授業計画					
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など				
1	2拍子及び4拍子、四分音符と二分音符、順次進行による旋律を正確に歌えるようにする。また八分音符を含むリズム打ちも並行してして練習する。				
2	3拍子、四分音符と二分音符さらにそれらに対応する休符、順次進行による旋律を正確に歌えるようにする。また八分音符を含むリズム打ちの練習をする。				
3	3度音程を含む旋律を正確に歌えるようにする。また八分音符と四分休符を含むリズム打ちの練習も行う。				
4	3度音程を含む、さらに複雑な旋律を正確に歌えるようにする。				
5	付点二分音符を含む旋律を正確に歌えるようにする。また八分音符までの音価と八分休符を含むリズム打ちを練習する。				
6	タイを含む旋律を正確に歌えるようにする。				
7	4度音程を含む旋律を正確に歌えるようにする。また八分音符と八分休符を含んだ、さらに複雑なリズム打ちを練習する。				
8	付点四分音符とタイを含んだリズムの旋律を歌えるようにする。また同レベルのリズム打ちをする。				
9	5度音程を含む旋律を歌えるようにする。				
10	これまでに学んだ要素を含んだ旋律の歌唱・コーリュブゲン及びリズム打ちの実技テスト。				
11	ト長調、ヘ長調の旋律を歌う練習をする。				
12	ト長調、ヘ長調とその平行調(ホ短調、ニ短調)の旋律を歌えるようにする。				
13	ト長調、ヘ長調とその平行調(ホ短調、ニ短調)の旋律で臨時記号を伴った旋律を歌う練習をする。				
14	6度音程を含む旋律を正確に歌えるようにする。また八分音符と八分休符を含んだ、さらに複雑なリズム打ちを練習する。				
15	7度音程を含む旋律を正確に歌えるようにする。また八分音符と八分休符を含んだ、さらに複雑なリズム打ちを練習する。				
16	ニ長調、変ロ長調/旋律を歌う練習をする。				
17	ニ長調、変ロ長調とその平行調(ロ短調、ト短調)の旋律を歌う練習をする。				
18	これまでに学んだ要素を含んだ旋律の歌唱・コーリュブゲン及びリズム打ちの実技テスト。				
教科書等	コーリュブゲン・リズムの基礎・視唱ステップアップ 授業形態/対面授業と遠隔授業の併用実施				
成績評価	課題の実技テスト80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。				
実務経験教員の経歴	2010年より国際音楽エンタテインメント専門学校、2005年より新潟県立新潟中央高等学校非常勤講師(ソルフェージュ・音楽理論)				

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	作曲実習		実務授業の有無	○
担当講師	真柄 伸彬		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	34 時間
対象学科	音楽アーティスト科		対象コース	ヴォーカルコース

授業概要	ポピュラー音楽の作曲技法を紹介し、それを元に各自課題曲の制作に取り組んでもらう。音楽理論・コード理論の基礎や、メロディーとハーモニー制作、コード進行制作方法について学ぶ。実習課題の内容は、1.コード進行の制作/2.コード進行に合うメロディーの制作/3.メロディーに合うコード進行作成・リハーモナイズとし、各時間に8小節程度の課題曲を制作してもらう。後期では、1コーラスサイズでの作曲課題に取り組んでもらう。シンガーソングライタースタイルの活動を確立できるようになることが到達目標。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	作曲と音楽の3要素について メロディーメイキング課題①-1
2	キーとスケール、音程、メジャー・コードとマイナー・コード メロディーメイキング課題①-2
3	ダイアトニック・コード①ベーシック・コード とコード・パターンコード進行制作課題①-1
4	ダイアトニック・コード②セブンス・コードとコード・パターン コード進行制作課題①-2
5	メロディーにおけるテンションとアヴォイド メロディーメイキング課題②
6	ハーモニー制作法 ハーモニー制作課題①
7	ダイアトニック・コード③その他のコード と主要三和音・代理和音コード進行リハーモナイズ課題①
8	コード進行のリハーモナイズ方法コード進行リハーモナイズ課題②
9	前期のまとめ前期評価週作曲課題
10	楽曲構成論 / ヒット曲の簡易楽曲分析 (分析楽曲については学生に取り上げて欲しい曲をアンケートし教材として適したものを選ぶ)
11	セカンダリー・ドミナント・コードとその他の汎用コード コード進行制作課題②
12	伴奏アレンジとリズム/ 伴奏アレンジによるコードサウンドのコントロールについて 伴奏アレンジ制作課題①
13	様々なスケールとモード的作曲法様々なスケールを使用したメロディーメイキング課題①
14	テンション・コードテンション・コードを使用した コード進行制作課題①
15	転調とその使用例 ①転調するサビの作曲課題①-1
16	転調とその使用例 ②転調するサビの作曲課題①-2
17	後期のまとめ後期評価週作曲課題

教科書等	なし
成績評価	授業態度40%、課題制作60% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	新潟市を拠点に作曲家として10年活動中。

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ライブパフォーマンス実習		実務授業の有無	○
担当講師	えのもと くみこ		講義実施時期	前期・後期
対象学年	1	年	必修・選択	必修
対象学科	音楽アーティスト科		総授業時間	34 時間
			対象コース	全コース

授業概要	ライブやイベント出演の際に必要な基礎知識(サウンドチェック、パフォーマンス準備)や技術(演奏力、魅せ方)などを学び、自身のパフォーマンス力向上を図る。 それぞれのパフォーマンスに対してのフィードバックを行い、意見交換をし合う。 実際に自主企画ライブを開催することを想定し、企画の組み立て方、スタッフとのやり取り、運営の仕方なども併せて学ぶ。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション(自己紹介・前期の授業概要説明・ライブハウスの環境を知る・課題曲決め)
2	実際にステージに立ち、リハーサルから本番の流れを体感、課題曲
3	個々のパフォーマンスをチェックし、フィードバック
4	個々のパフォーマンスをチェックし、フィードバック
5	個々のパフォーマンスをチェックし、フィードバック
6	個々のパフォーマンスをチェックし、フィードバック・新曲
7	個々のパフォーマンスをチェックし、フィードバック
8	個々のパフォーマンスをチェックし、フィードバック
9	発表会のゲネリハーサル・フィードバック(企画・構成最終確認、サウンドチェック、仕上がりチェック)
10	発表会
11	イントロダクション(後期の授業概要説明 バンド演習?)・曲決め(課題曲?)
12	個々のパフォーマンスをチェックし、フィードバック
13	個々のパフォーマンスをチェックし、フィードバック
14	個々のパフォーマンスをチェックし、フィードバック(新曲)
15	個々のパフォーマンスをチェックし、フィードバック
16	個々のパフォーマンスをチェックし、フィードバック
17	発表会

教科書等	なし
成績評価	課題レポート提出80%、授業態度および学習意欲20%
実務経験教員の経歴	ヴォイストレーナー・歌唱指導歴18年。NegiccoやNGT48など数々のアイドルグループやアーティストを指導、ジャズヴォーカリストの傍らマンダムズでピータンくみこととして、ラジオやテレビのメディア出演など幅広く活動する。これまで個人で2枚のアルバム、マンダムズで7枚のアルバムを発表。一流ホテルのディナーショー・大ホールから地元のお祭りまで多数のステージを経験する。

SHOW ! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ヴォーカルレコーディング		実務授業の有無	○	
担当講師	ナタリー石田		講義実施時期	前期・後期	
			必修・選択	必修	
対象学年	2	年	総授業時間	34	時間
対象学科	ヴォーカル科		対象コース	全コース	

授業概要	<p>実際のレコーディングを通して、コンデンサーマイクでのヴォーカリング、ヘッドフォン(イヤフォン)を使ってのモニタリングやキューボックスの操作に慣れ、自分にとって歌いやすいセットアップ法を学ぶ 録音した歌に対しディレクションを行い、より洗練されたデモを仕上げていく 声の特性や表現の細部まで、新たな発見の場となる</p>
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	ソフトプロダクション、選曲のソフト説明、目的を明確にし、目標を立てる。この日に順番を決めてしまう
2	ナタリー石田のソロアルバム制作時の音源などをベースにレコーディングの過程などを学ぶ。
3	レコーディング、学生がディレクション（1日に二名のレコーディング）
4	レコーディング、学生がディレクション
5	レコーディング、学生がディレクション
6	レコーディング、学生がディレクション
7	レコーディング、学生がディレクション
8	レコーディング、学生がディレクション
9	レコーディング、学生がディレクション
10	レコーディング、学生がディレクション
11	レコーディング、学生がディレクション
12	レコーディング、学生がディレクション
13	レコーディング、学生がディレクション
14	レコーディング、学生がディレクション
15	レコーディング、学生がディレクション
16	レコーディング、学生がディレクション
17	レコーディング、学生がディレクション

教科書等	なし 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	授業態度および学習意欲70%、デモ音源評価30%
実務経験教員の経歴	マンダムズのボーカリストとして20年、また、ジャズ、ポップスシンガーとして活動。チャペルソリストとして19年、他、数々のステージで活動中。県内のCMソング歌唱やテレビ・ラジオなどでナレーターとしても活躍。

SHOW! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ヴォイストレーニング		実務授業の有無	○
担当講師	延沢汐美		講義実施時期	前期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	16 時間
対象学科	ヴォーカル科		対象コース	ヴォーカル科全コース

授業概要	発声や歌唱に関する知識の構築と、基礎としての土台作りを通して、声に対しての興味と関心を深くする。また、1年次から行っている他ジャンルへの知識と興味も深し、自身のオリジナル楽曲制作へのアイデアやヒントとさせ、制作意欲を上げていく。また、様々な現場を想定して、必要なスキルの構築も行う。 ストレッチや筋力トレーニングを通じた体作り、発声練習を通じた呼吸機能・発音機能、ヴォーカルテクニック向上、発声の仕組みや呼吸に関する知識
------	---

授業計画

回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	<ul style="list-style-type: none"> ○出席(自己紹介させる→名前・高校名・好きなアーティストやジャンル・目標・授業で身に付けたいこと) ○講師紹介(名前・高校名・お仕事についてなど) ○授業への心構え(挨拶に重要性・授業の進め方・授業への姿勢) ○ヴォイストレーニングの必要性 ----- ○効果的なストレッチ方法
2	<ul style="list-style-type: none"> ○出席(自分で名前を言わせる・一言トーク)→MCトレーニング ○ストレッチ ○筋力トレーニング(足上げ腹筋・背筋・体幹トレーニング2種・肩周り・首周り・表情筋) ○プレトレーニング ○リップロール -----
3	<ul style="list-style-type: none"> ○出席(自分で名前を言わせる・一言トーク)→MCトレーニング ○ストレッチ ○筋力とトレーニング(腹斜筋・背筋・体幹トレーニング2種・腹直筋) ○横隔膜トレーニング(ドッグプレス テンゴ180 30秒) ○共鳴腔を感じながら音階発声 ○ハミング&ロングトーン ○ロングトーン(高音：鼻腔・中音：口腔・低音：咽頭腔&胸腔) ○言葉(あえいおう アンザツ説明)
4	<ul style="list-style-type: none"> ○出席(自分で名前を言わせる・一言トーク)→MCトレーニング ○ストレッチ ○筋力とトレーニング(腹斜筋・背筋・体幹トレーニング2種・腹直筋) ○首・肩・表情筋トレーニング ○リップロール(ロングトーン・音階) ○ハミング&ロングトーン ○裏声(ファルセット)「ホホホホー」 ○裏声から地声移行
5	<ul style="list-style-type: none"> ○出席(自分で名前を言わせる・一言トーク)→MCトレーニング ○ストレッチ ○筋力トレーニング(足上げ腹筋・背筋・体幹トレーニング2種・肩周り・首周り・表情筋) ○共鳴腔 ハミング音階発声 ○共鳴から発声へ ハミングロングトーン ○ロングトーン ○音階 「ま」
6	<ul style="list-style-type: none"> ○出席(自分で名前を言わせる・一言トーク)→MCトレーニング ○ストレッチ ○筋力トレーニング(足上げ腹筋・背筋・体幹トレーニング2種・肩周り・首周り・表情筋) ○共鳴腔 ハミング音階発声 ○共鳴から発声へ ハミングロングトーン ○ロングトーン ○音階 「ま」
7	<ul style="list-style-type: none"> ○出席(自分で名前を言わせる・一言トーク)→MCトレーニング ○ストレッチ ○筋力トレーニング(足上げ腹筋・背筋・体幹トレーニング2種・肩周り・首周り・表情筋) ○共鳴腔 ハミング音階発声 ○共鳴から発声へ ハミングロングトーン ○ロングトーン ○音階 「ま」
8	<ul style="list-style-type: none"> ○出席(自分で名前を言わせる・一言トーク)→MCトレーニング ○ストレッチ ○筋力トレーニング(足上げ腹筋・背筋・体幹トレーニング2種・肩周り・首周り・表情筋) ○共鳴腔 ハミング音階発声 ○共鳴から発声へ ハミングロングトーン ○ロングトーン ○音階 「ま」

教科書等	・講師制作テキスト ・課題曲の楽譜・音源・歌詞カード
成績評価	課題の成果40%、授業態度および学習意欲50%、テスト10% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	ヴォーカルインストラクター・イベントシンガー・チャペルシンガーとして10年音楽業界に従事

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ヴォイストレーニング		実務授業の有無	○
担当講師	延沢汐美		講義実施時期	前期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	18 時間
対象学科	ヴォーカル科		対象コース	ヴォーカル科全コース

授業概要	発声や歌唱に関する知識の構築と、基礎としての土台作りを通して、声に対する興味と関心を深くする。また、1年次から行っている他ジャンルへの知識と興味も深し、自身のオリジナル楽曲制作へのアイデアやヒントとさせ、制作意欲を上げていく。また、様々な現場を想定して、必要なスキルの構築も行う。ストレッチや筋力トレーニングを通じた体作り、発声練習を通じた呼吸機能・発声機能・ヴォーカルテクニック向上、発声の仕組みや呼吸に関する知識向上など、ヴォーカリストとしての知識力・基礎力の構築
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	○授業への心構え(挨拶に重要性・授業の進め方・授業への姿勢) 再度動機付け ○ストレッチ ○筋力トレーニング(腹筋・背筋) ○体幹トレーニング ○プレストレーニング
2	○ストレッチ ○筋力トレーニング(腹筋・背筋) ○体幹トレーニング ○プレストレーニング
3	○ストレッチ ○筋力トレーニング(腹筋・背筋) ○体幹トレーニング ○プレストレーニング
4	○ストレッチ ○筋力トレーニング(腹筋・背筋) ○体幹トレーニング ○プレストレーニング ○発声練習(ハミング・ハミングロングトーン・ロングトーン・5度音程・オク)
5	○授業への心構え(挨拶に重要性・授業の進め方・授業への姿勢) 再度動機付け ○ストレッチ ○筋力トレーニング(腹筋・背筋) ○体幹トレーニング ○プレストレーニング ○発声練習(ハミング・ハミングロングトーン・ロングトーン・5度音程・オク)
6	○ストレッチ ○筋力トレーニング(腹筋・背筋) ○プレストレーニング ○リップロール
7	○後期評価曲 1コーラスのみチェック
8	○後期評価曲 フルコーラスチェック
9	○後期評価曲 テスト

教科書等	・講師制作テキスト ・課題曲の楽譜・音源・歌詞カード
成績評価	課題の成果40%、授業態度および学習意欲50%、テスト10% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	ヴォーカルインストラクター・イベントシンガー・チャペルシンガーとして10年音楽業界に従事

SHOW! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ヴォーカル口実技Ⅱ		実務授業の有無	○
担当講師	ナタリー石田		講義実施時期	前期・後期
対象学年	2	年	必修・選択	必修
対象学科	音楽アーティスト科		総授業時間	36 時間
			対象コース	全コース

授業概要	ヴォーカリストとして、本格的に【お客様の時間とお金を頂戴して歌う】ことをより突き詰めていく。聴く人の気持ちを優先した選曲やパフォーマンス。歌うことのフェーズをひと段階上げていくためにも、ヴォーカリストとしての実力やその心構えをよりしっかりとしたものへと形成していく。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	【二年目の自己紹介】一年間歌手の扉を開け、経験してきました。二年目の自己紹介してもらい、その際に自分が影響を受けた曲や二年目の自分をもう一度確認し、最後に今後の方向性や目指すべきものを導き出す
2	【歌の披露】現時点で自分が一番自信のある楽曲を披露してもらおう。そのうえで、なぜその曲なのか、なぜその曲に魅力を感じるのか？その曲が伝えたいことは？など、二年目だからその歌を多角的に考える。
3	【テーマ：シチュエーションに合わせて1】老人施設での慰問、をテーマに曲を選び、MCも交えて披露。現在のお年寄りの年齢層や趣向を考えての選曲を。
4	【テーマ：シチュエーションに合わせて2】幼稚園、保育園への慰問、をテーマに曲を選び、MCも交えて披露。現在の子どもの趣向を考えての選曲をし、どうすれば喜んでもらえるのかを模索する。
5	【テーマ：シチュエーションに合わせて3】客層30～50代が多い企業のパーティーの余興で呼ばれました。さあ、どんな曲、どんなMCで勝負しますか？
6	【男女、男男、女女のDUO】二人あるいは三人一組になってデュオを披露。パート分けやハモリの分担など、それぞれが自分たちで考え、美しいハーモニーを奏でてもらおう。
7	【アコースティックオケで】ピアノ、もしくはギター1本のオケを使い、アコースティックなバックトラックで歌唱。リズム楽器がない中で、歌でグルーブを作っていく。
8	【昭和歌謡】みなさんが生まれる前の歌謡曲。この時代ならではの曲を選曲し、歌い方、表情の付け方、世界観を意識しながら、歌謡歌手になりきって歌唱してもらいます。この日最終課題曲を聴いてもらいます。
9	【テーマ：課題曲の進展状況を確認】最終課題曲を現時点でどこまで歌えるか練習として披露。歌いこなせていない部分などを細かくチェックします。
10	【評価課題曲】二週前に渡しておいた課題曲を披露してもらいます。歌い込み、完成度を評価します。
11	【休み中のエピソード～歌唱】この休暇中に音楽に対する想いの変化や、スキルアップのためになにかやってきたか、などを確認する。その後歌の披露で【どう進化したか、或いは退化したか】を評価する。また、秋の原石と現役ライブのミーティング開始。
12	【特定の人に向けて】恋人、家族、友人…特定の人に向けた感謝や愛を込めて歌ってもらいます。その際にどういう思いなのかを自問自答して選曲してもらおう。原石と現役のミーティング。
13	【自由課題】今現在の自分の立ち位置を知る意味で、今の自分を表す曲を披露。
14	【原石と現役に向けて1】ライブで披露する曲を実際にやってもらいます。問題点を洗い出し、何が良くて何が悪いのか。クロストークしていく。
15	【原石と現役に向けて2】ライブで披露する曲を実際にやってもらいます。問題点を洗い出し、何が良くて何が悪いのか。更に完成度を高めます。
16	【原石と現役仕上げ】予定のライブに向けた仕上げ。この時点で【お金と時間を使って来ていただくお客様に納得してもらえるものなのか】をもう一度検証。
17	【テーマ：課題曲の進展状況を確認】最終課題曲を現時点でどこまで歌えるか練習として披露。歌いこなせていない部分などを細かくチェックします。
18	【評価課題曲】二週前に渡しておいた課題曲を披露してもらいます。歌い込み、完成度を評価します。

教科書等	特になし。 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	授業での歌唱評価、及び上達度80%、授業態度および学習意欲20%
実務経験教員の経歴	マンダムズのボーカリストとして20年、また、ジャズ、ポップスシンガーとして活動。チャペルソリストとして19年、他、数々のステージで活動中。県内のCMソング歌唱やテレビ・ラジオなどでナレーターとしても活躍。

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ヴォーカルパフォーマンス実習		実務授業の有無	○
担当講師	CHICO/マクレーン有美		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	36 時間
対象学科	音楽アーティスト科		対象コース	全コース

授業概要	<p>ライブやイベント出演の際に必要な基礎知識(サウンドチェック、パフォーマンス準備)や技術(演奏力、魅せ方)などを学び、自身のパフォーマンス力向上を図る。 それぞれのパフォーマンスに対してのフィードバックを行い、意見交換をし合う。 実際に自主企画ライブを開催することを想定し、企画の組み立て方、スタッフとのやり取り、運営の仕方なども併せて学ぶ。</p>
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション(自己紹介・前期の授業概要説明・ライブ映像鑑賞・ライブハウスの環境、イヤモニターの特性を知る)
2	実際にステージに立ち、リハーサルから本番の流れを体感 イヤモニ体験
3	個々のパフォーマンスをチェックし、フィードバック
4	個々のパフォーマンスをチェックし、フィードバック
5	個々のパフォーマンスをチェックし、フィードバック
6	個々のパフォーマンスをチェックし、フィードバック
7	個々のパフォーマンスをチェックし、フィードバック
8	個々のパフォーマンスをチェックし、フィードバック
9	発表会
10	イントロダクション(後期の授業概要説明・イベントの組み立て方のレクチャー)後ボイストレーニング
11	個々に向けてパフォーマンスディレクション
12	個々に向けてパフォーマンスディレクション
13	個々に向けてパフォーマンスディレクション
14	ライブ練習
15	ライブ練習
12	ライブ練習
13	ライブのリハーサルを行う(企画・構成最終確認、サウンドチェック、仕上がりチェック)
14	
15	※市民プラザにてコンサート本番あり

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	課題レポート提出80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	ユニバーサルよりメジャーデビュー。多くのメジャーアーティストのトレーニングも行い、ゲーム音楽を始め音楽制作にも携わる。

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	作曲REC実習		実務授業の有無	×
担当講師	小川拓・桑原陽樹		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	38 時間
対象学科	ヴォーカル科		対象コース	

授業概要	昨今のヴォーカリストに求められる作曲能力・メロディ制作能力を培うとともに、完成した作品を自分で録音・MIXができるようになるための授業
------	---

回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	導入・前期授業内容説明／1年次作曲実習の振り返り、各自のオリジナル楽曲の現状把握
2	楽曲制作課題① 既存コード進行に合わせたメロディ作り
3	楽曲制作課題① 既存コード進行に合わせたメロディ作り・発表
4	楽曲制作課題② 複数のコード進行より選択しメロディ作り
5	楽曲制作課題② 複数のコード進行より選択しメロディ作り
6	オリジナル楽曲制作／簡易宅録実習①
7	オリジナル楽曲制作／簡易宅録実習②
8	オリジナル楽曲制作／簡易宅録実習③
9	前期まとめ、発表
10	導入・後期授業内容説明／前期の振り返り、各自のオリジナル楽曲の現状把握
11	楽曲制作課題③ コード進行も含めた楽曲制作
12	楽曲制作課題③ コード進行も含めた楽曲制作
13	楽曲制作課題③ コード進行も含めた楽曲制作
14	楽曲制作課題③ コード進行も含めた楽曲制作
15	オリジナル楽曲制作／簡易宅録実習④
16	オリジナル楽曲制作／簡易宅録実習⑤
17	オリジナル楽曲制作／簡易宅録実習⑥
18	後期まとめ、発表
19	

教科書等	なし 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	出席率50%、授業態度および学習意欲50% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	コード楽器実技		実務授業の有無	○
担当講師	今井 哲朗		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	17 時間
対象学科	音楽アーティスト科		対象コース	ヴォーカルコース

授業概要	アコースティックギターの構造や各パーツの名称、メンテナンスなどを基本的に学び、様々な奏法を習得していく。 歌いながらもしっかりとギターを鳴らしていけるよう、トレーニングしていく。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	アコースティックギターの構造、メンテナンス、チューニングについて スキルチェック
2	アコースティックギターの持ち方、構え方 指板に対する左手のミュートと弦に対する右手の使い方
3	ピックの持ち方と弦に対するピッキングについて ピックの種類による演奏方法
4	オープンコードを演奏 バレーコードを演奏
5	コードを使った課題曲
6	アルペジオ奏法 カットイング奏法 ブリッジミュート奏法
7	色々なリズムトレーニング
8	16分のリズムトレーニング
9	課題曲提示
10	前期課題曲テスト
11	後期導入 前期復習
12	単音弾きの奏法 各指の独立について
13	指弾き奏法 基本的なルール
14	ハイブリッドピッキングについて
15	課題曲提示(歌あり)
16	課題曲練習(歌あり)
17	課題曲テスト(歌あり)
18	
19	

教科書等	なし 授業形態／対面授業
成績評価	授業態度25%、テスト結果50%、学習意欲25% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	1996年～ギタリストとして新潟市を中心に活動中 開志学園高等学校音楽フィールドギター講師

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ピアノ実習		実務授業の有無	○
担当講師	塩田美月		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	34
対象学科	音楽アーティスト科		対象コース	ヴォーカルコース

授業概要	ピアノ演奏の基礎となるトレーニングを実施。 楽譜の読み方、運指、リズム、奏法を学び、実践に繋げる。 ピアノソロでもアンサンブルでも活用できる技術を学ぶ。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション(動機付け) スキルチェック、ピアノ基礎トレーニング
2	ピアノ基礎トレーニング(ハノン) 楽譜の読み方を学ぶ、簡単な課題曲提示
3	ピアノ基礎トレーニング(ハノン) 課題曲の練習・チェック
4	ピアノ基礎トレーニング(ハノン) 課題曲の練習・チェック
5	ピアノ基礎トレーニング(ハノン) 課題曲発表→フィードバック、コードの読み方について学ぶ
6	ピアノ基礎トレーニング(ハノン) コードの種類を学ぶ、課題曲提示
7	ピアノ基礎トレーニング(ハノン) 課題曲の練習・チェック
8	ピアノ基礎トレーニング(ハノン) 課題曲の練習、チェック
9	ピアノ基礎トレーニング(ハノン) 課題曲の練習、チェック
10	ピアノ基礎トレーニングのテスト 課題曲発表→フィードバック 前期まとめ
11	イントロダクション(動機付け、後期目標設定) ピアノ基礎トレーニング、自由課題曲選定(ピアノソロ)
12	ピアノ基礎トレーニング(ハノン) 自由課題曲の練習、チェック
13	ピアノ基礎トレーニング(ハノン) 自由課題曲の練習、チェック
14	ピアノ基礎トレーニング(ハノン) 自由課題曲の練習、チェック
15	ピアノ基礎トレーニング(ハノン) 課題曲発表→フィードバック、自由課題曲選定(伴奏)
16	ピアノ基礎トレーニング(ハノン) 自由課題曲の練習、チェック
17	ピアノ基礎トレーニングのテスト 自由課題曲発表→フィードバック 後期まとめ

ko	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	出席率20%、授業態度および学習意欲40%、課題テスト40% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	幼少期～現在 YAMAHAにてピアノ(クラシック)を習う 国際音楽エンタテインメント専門学校 ヴォーカル科ヴォーカル&楽器(キーボード)コース 卒業 新潟で活動しているバンド「Chic Sick」にてキーボード&コーラスを担当 その他様々な地元アーティストのサポートキーボードとして活動中